

# 綾瀬川断層等による地震の被害量について

平成 29 年 4 月

危機管理防災部

## 1 経緯

平成 27 年 4 月 国 「関東地域の活断層の長期評価」を公表  
⇒ 伊奈－川口区間も活断層の可能性あり

平成 28 年 4 月 国 伊奈－川口区間の詳細調査に着手  
県 伊奈－川口区間の地震被害量推計に着手

### 被害量推計の結果概要 (H29.3)

人的被害	死者	約 5,800人
	負傷者	約 40,000人
建物被害 (全・半壊)		約260,000棟
火災延焼		約 26,000棟
避難所避難者 (1週間後)		約300,000人

平成 29 年 3 月 国 詳細調査実施機関が国の部会に中間報告  
⇒ 活断層とした根拠を否定できそう  
(活断層の可能性はなさそう)

## 2 今後の対応

被害推計の結果概要を国の調査状況とともにホームページに掲載する。

2～3年後に出される国の正式な評価により、活断層がないことが確定されれば、ホームページから削除する。

## 3 その他

同時に実施していた越生断層による地震の被害量推計の結果も公表

(結果概要：ほとんどの場所が震度6弱以下で、被害が少ない)